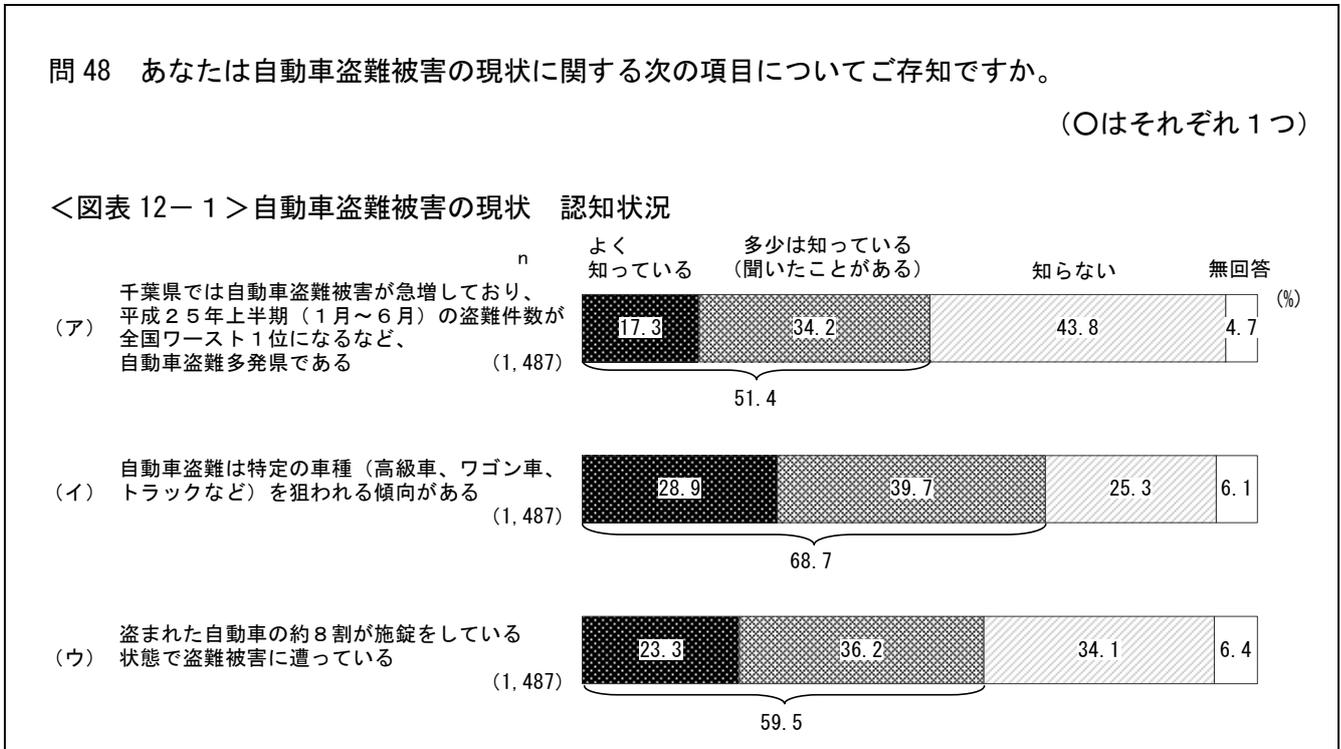


12. 自動車盗難の被害防止について

(1) 自動車盗難被害の現状 認知状況

◇<自動車盗難は特定の車種を狙われる傾向がある>を『知っている』が約7割



自動車盗難被害の現状について聞いたところ、「よく知っている」と「多少は知っている(聞いたことがある)」を合わせた『知っている』は、<(イ) 自動車盗難は特定の車種(高級車、ワゴン車、トラックなど)を狙われる傾向がある>(68.7%)が約7割、<(ウ) 盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている>(59.5%)が約6割、<(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月~6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である>(51.4%)が5割を超えている。(図表12-1)

【地域別】

地域別にみると、『知っている』は、<(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月~6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である>では、“君津地域”(71.8%)が7割を超えて他の地域に比べ高くなっている。<(イ) 自動車盗難は特定の車種(高級車、ワゴン車、トラックなど)を狙われる傾向がある>では、“夷隅地域”(82.4%)、“君津地域”(82.1%)が8割を超えて他の地域に比べ高くなっており、<(ウ) 盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている>では、“安房地域”(75.9%)、“長生地域”(75.0%)が7割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表12-2)

【性・年代別】

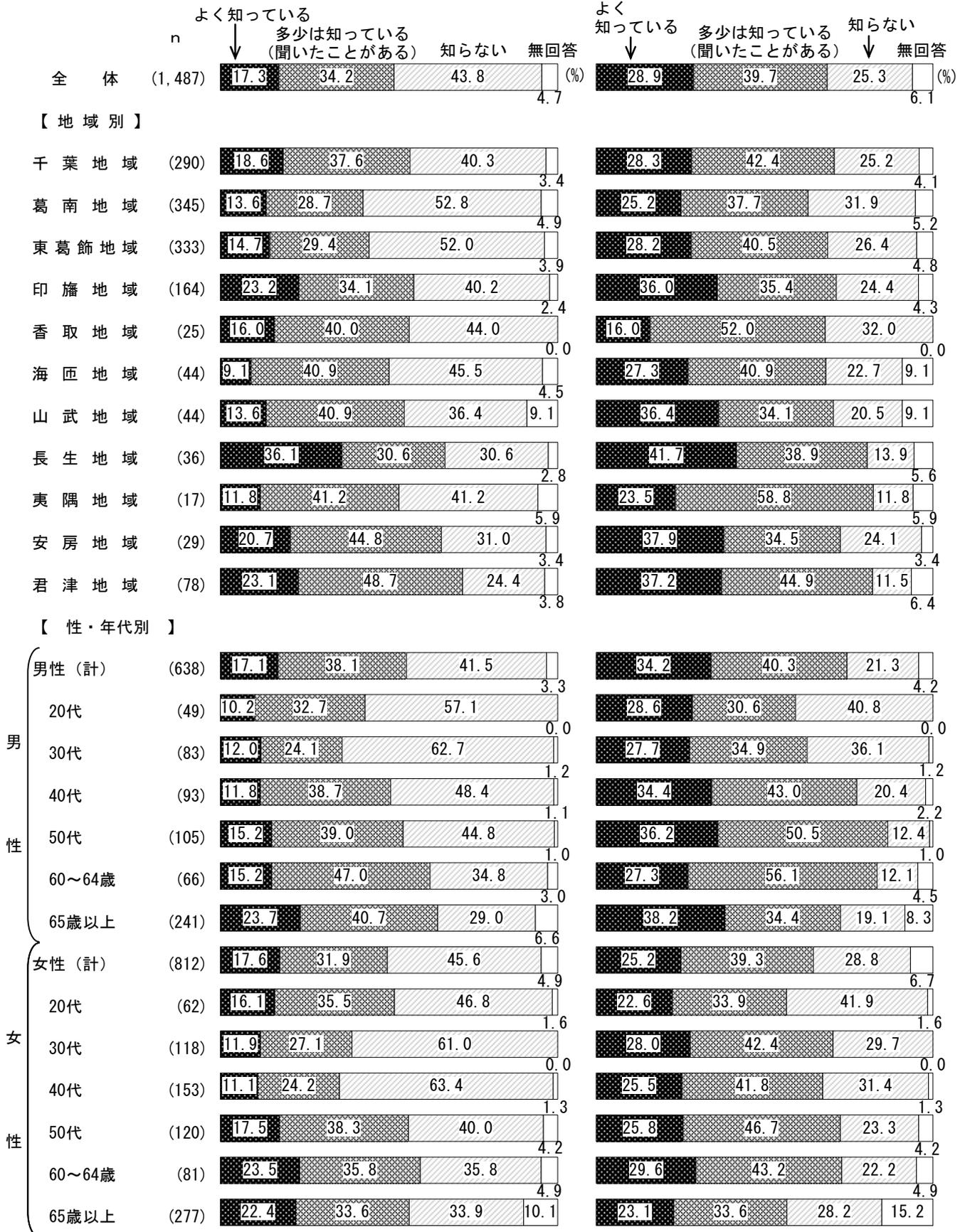
性・年代別にみると、『知っている』は、<(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月~6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である>では、男性の65歳以上(64.3%)、60~64歳(62.1%)が6割以上で他の年代に比べて高くなって

いる。＜（イ）自動車盗難は特定の車種（高級車、ワゴン車、トラックなど）を狙われる傾向がある＞では、男性の50代（86.7%）、60～64歳（83.3%）が8割台半ば、＜（ウ）盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている＞では、女性の60～64歳（76.5%）が7割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。（図表12-2）

<図表 12-2> 自動車盗難被害の現状 認知状況/地域別、性・年代別

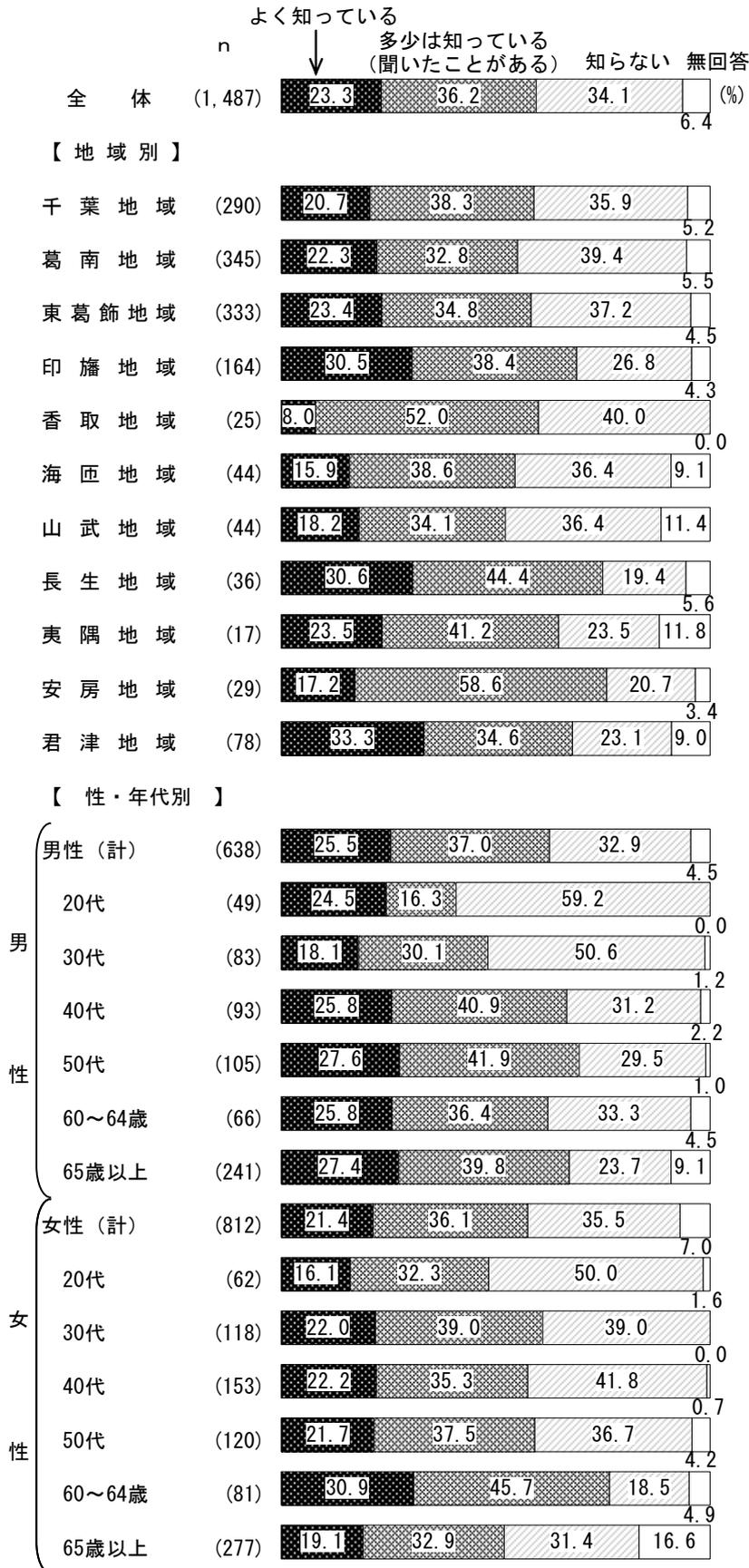
≪千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半年(1月~6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である≫

≪自動車盗難は特定の車種(高級車、ワゴン車、トラックなど)を狙われる傾向がある≫



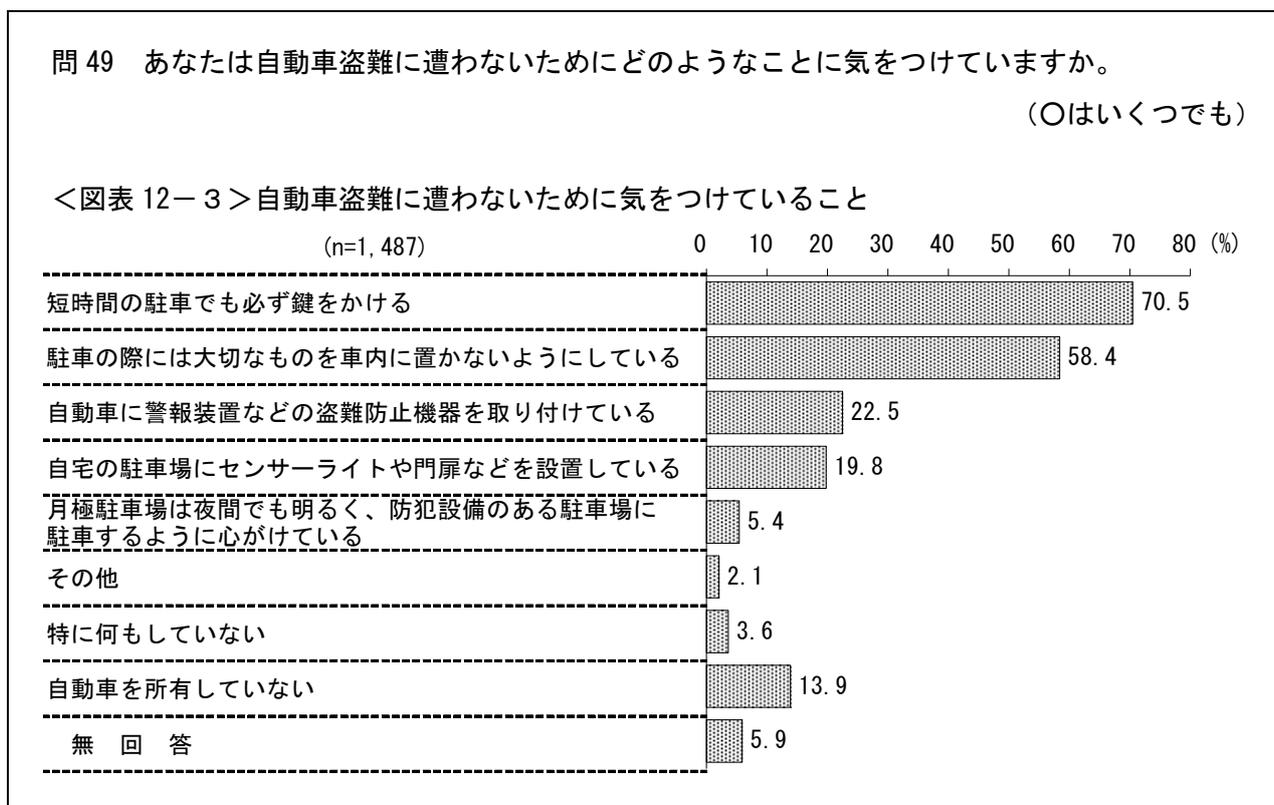
<図表 12-2> 自動車盗難被害の現状 認知状況／地域別、性・年代別

≪盗まれた自動車の約8割が
施錠をしている状態で盗難被害に遭っている≫



(2) 自動車盗難に遭わないために気をつけていること

◇「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」が7割



自動車盗難に遭わないために気をつけていることを聞いたところ、「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」(70.5%)が7割で最も高く、以下「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」(58.4%)、「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」(22.5%)、「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」(19.8%)と続いている。(図表12-3)

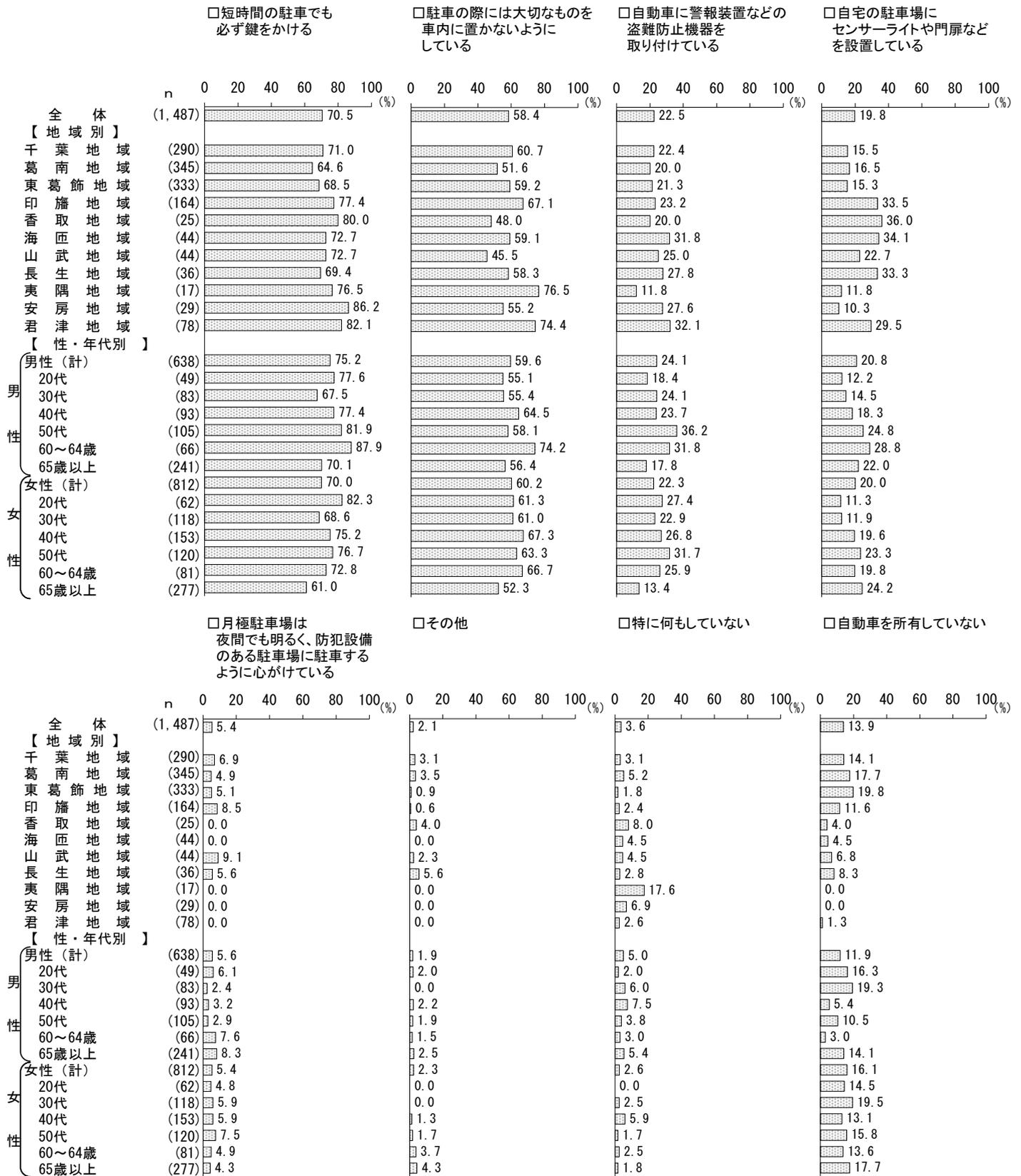
【地域別】

地域別にみても、「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」は“安房地域”(86.2%)が8割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」は“夷隅地域”(76.5%)、“君津地域”(74.4%)が7割台半ば、「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」では“君津地域”(32.1%)、“海匝地域”(31.8%)が3割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」では、“香取地域”(36.0%)、“海匝地域”(34.1%)、“印旛地域”(33.5%)、“長生地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表12-4)

【性・年代別】

性・年代別にみても、男性の60～64歳で「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」(87.9%)が約9割、「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」(74.2%)が7割台半ば、「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」(28.8%)が約3割で他の年代に比べ高くなっている。「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」は男性の50代(36.2%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表12-4)

＜図表 12-4＞自動車盗難に遭わないために気をつけていること／地域別、性・年代別



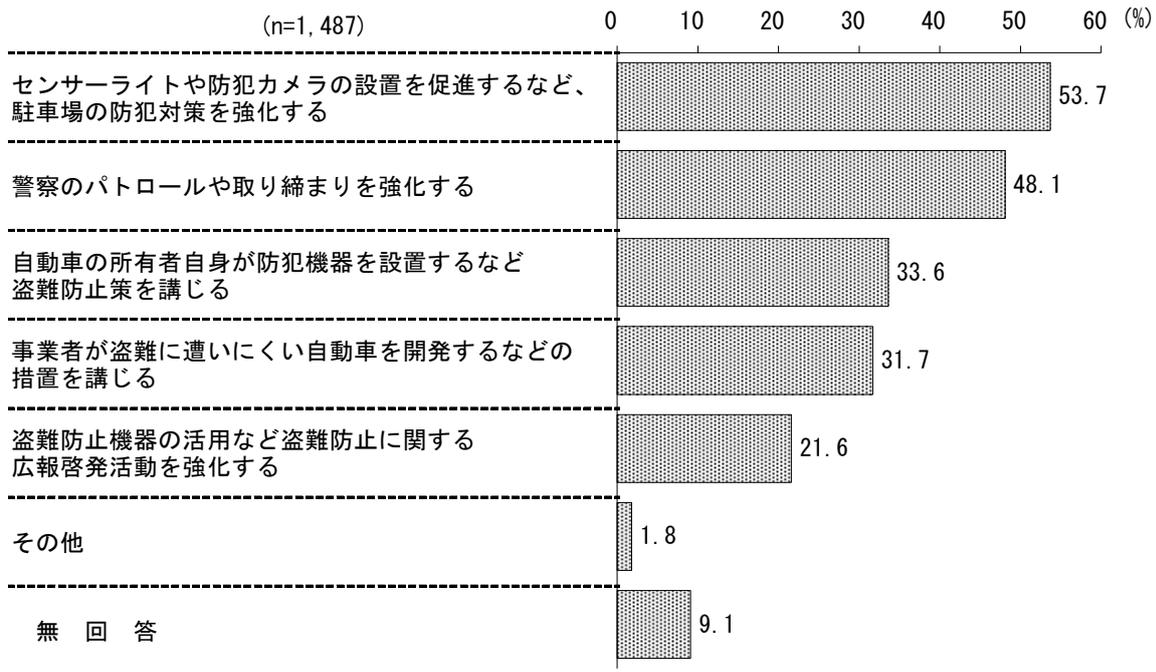
(3) 自動車盗難被害を防止する有効な対策

◇「センサーライトや防犯カメラの設置促進など、駐車場の防犯対策を強化する」が5割台半ば

問 50 自動車盗難被害を防止するためにどのような対策が有効だと思いますか。

(○はいくつでも)

<図表 12-5> 自動車盗難被害を防止する有効な対策



自動車盗難被害を防止するための有効な対策を聞いたところ、「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」(53.7%)が5割台半ばで最も高く、以下「警察のパトロールや取り締まりを強化する」(48.1%)、「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」(33.6%)、「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」(31.7%)と続いている。(図表12-5)

【地域別】

地域別にみても、「香取地域」が「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」(68.0%)で約7割、「警察のパトロールや取り締まりを強化する」(60.0%)では6割で他の地域に比べて高くなっている。「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」は、「安房地域」(48.3%)が約5割、「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」では「海匝地域」(40.9%)が4割で他の地域に比べて高くなっている。

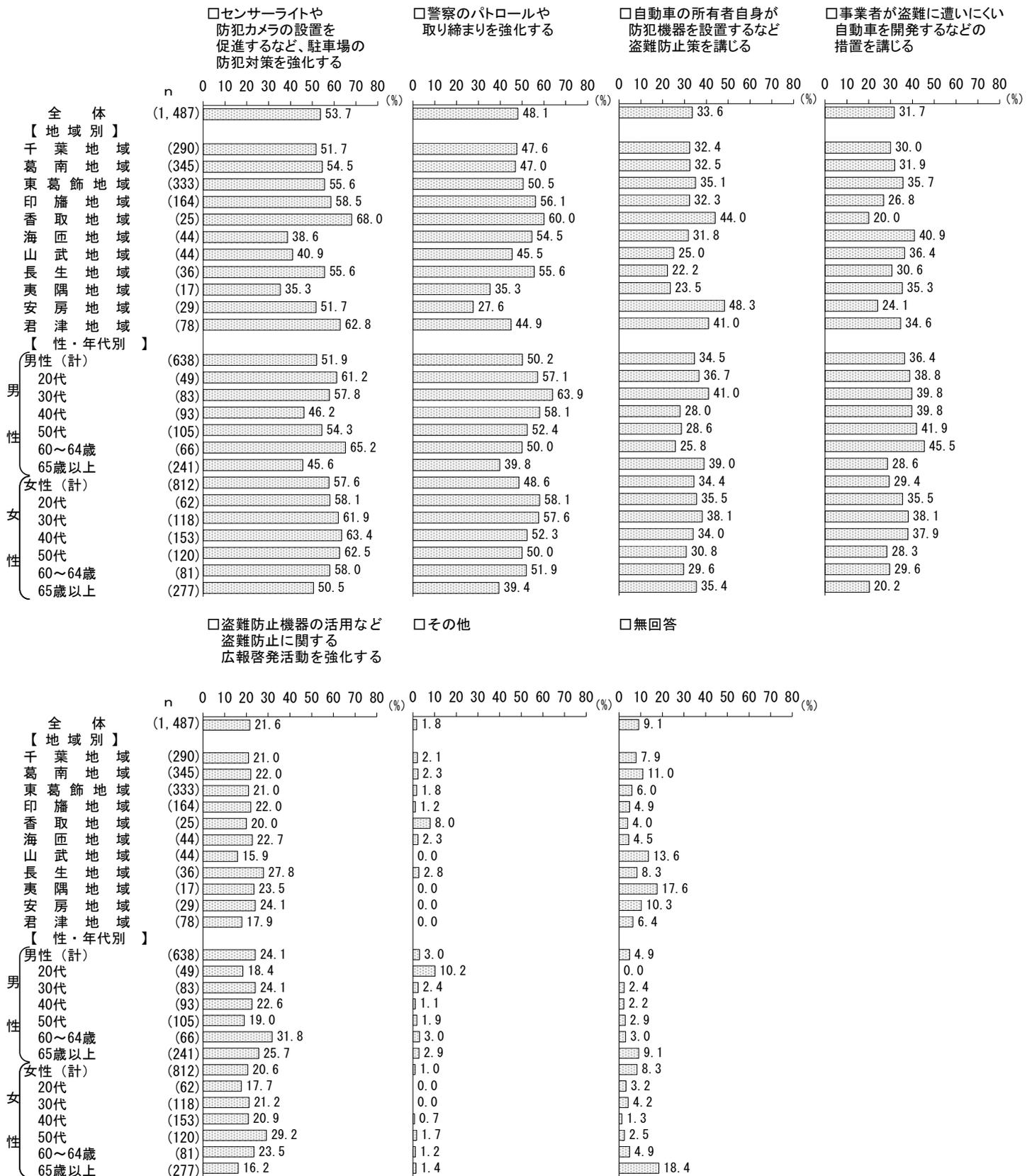
(図表12-6)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」は男性の60~64歳(65.2%)、20代(61.2%)、女性の40代(63.4%)、50代(62.5%)、30代(61.9%)が6割以上で他の年代に比べて高くなっている。男性の30代が「警察のパトロールや

取り締まりを強化する」(63.9%)で6割台半ば、「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」(41.0%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」は男性の60～64歳(45.5%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表12—6)

<図表 12-6> 自動車盗難被害を防止する有効な対策／地域別、性・年代別



このほかに、「自動車盗難の被害防止について」やここまでの質問（問48～問50）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、75人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「自動車盗難の被害防止について」の自由回答（抜粋）

- 高い車ほど盗難にあいやすいことがわかり、分相応の車にしています。
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 近隣でも盗難の話は聞いたことがなく、身近な問題とは考えていませんでした。特定の地域や状況、条件の地区が被害にあっているのではないのでしょうか。(男性・40代・葛南地域)
- 常日頃から危機意識をもつ（自動車の保有者自身）。車内に貴重品を絶対におかない。人気のない場所には車を止めない。(男性・30代・香取地域)
- すべての自動車に警報装置を標準装備にすることが良い。(男性・40代・君津地域)
- 管理は個人個人の問題であると思う。地域や近隣とのつながりや付き合いも必要です。ルールを守った駐車も必要です。(男性・65歳以上・印旛地域)
- 盗難にあった車は海外に行く事がほとんどだと思う。対策しても盗まれてしまう時もある。車両保険に入るとか、自分でできる対策をするしか無いから、その必要性をもっと強く広く伝えるべき。(女性・30代・長生地域)
- 所有者が盗難にあわないように自己防衛をする。自転車盗難の罪を重くする。
(女性・40代・安房地域)
- イモビライザーを標準装備にしてほしいと思います。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 自動車盗難被害にあった方の話は聞いているのですが、田んぼや畑に駐車する時鍵をしない時があるので自分でも気をつけなくてはと思います。(女性・60～64歳・香取地域)
- 夜間には電灯等でなるべく明るくすることでしょう。又、死角になるような場所は、駐車場として利用しないことかと考えます。更に、盗難されにくい町づくりを基本に置くべきだと思います。
(男性・60～64歳・印旛地域)